

4月会議

白石川堤「一目千本桜」
ブランド化事業
4千856万円を増額補正

4月会議が、4月1日行われました。議案は白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業に4千856万円を増額する一般会計補正予算です。財源は国からの商工費補助金3千885万円と財政調整基金からの繰入金です。審議の結果、原案のとおり可決しました。これにより事業費の総額は1億89万円になりました。町の負担は最終的に総額の最大で1割となります。

質疑 今回の桜まつり中に行うものは、

答弁 通行量調査、さくらマルシェ、和文文化体験として野点・神輿などを考えている。

質疑 ブランド化とは。

答弁 柴田町と大河原町間の8kmにわたる桜並木の景観は他に類を見ないものである。大河原町と共同での事業により弘前、角館と並ぶ桜の名所にできる。



ブランド化を目指す「一目千本桜」

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●平成28年度2月会議の出欠状況一覧（予算審査特別委員会を含む）

区分	主な内容	月日	出席者数	出欠状況															
				平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間 泰緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内 恵美子	我妻 弘国	高橋 たい子
本会議	町政報告、施政方針、一般質問	2.20	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	2.21	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問、人事案件	2.22	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	条例審議、補正予算等	2.23	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
予算審査特別委員会	新年度予算上程・総括質疑	2.24	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	正副委員長の互選等	2.24	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成29年度予算審議	2.27	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
本会議	平成29年度予算審議	2.28	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成29年度予算審議	3.1	16	遅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
本会議	平成29年度予算採決、追加議案審議等	3.2	16	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。
※議長は予算審査特別委員にはならない。

●平成28年度2月会議議案などの審議結果

○賛成と反対（賛成しない）に分かれたもの

件名	賛成	反対	議決結果	表決状況																
				平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間 泰緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内 恵美子	我妻 弘国	高橋 たい子	加藤 克明
「給与所得等に係る特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」（第三号様式）への個人番号の記載を中止することを求める意見書	12	3	原案可決	一	○	否	否	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。
※「議」は表決時に議長のため、また「一」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

○全員が賛成したもの

件名	件名
固定資産評価審査委員の選任について	平成29年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算
町道路線の変更について	平成29年度柴田町公共下水道事業特別会計予算
町道路線の認定について	平成29年度柴田町介護保険特別会計予算
特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成29年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算
柴田町町税条例等の一部を改正する条例	平成29年度柴田町土地取得特別会計予算
柴田町介護保険条例の一部を改正する条例	平成29年度柴田町水道事業会計予算
指定管理者の指定について（柴田町地域活動支援センター）	平成28年度町道榎木169号線外44路線道路補修工事（町道船迫2号線外）請負契約について
平成28年度柴田町一般会計補正予算	平成28年度町道富沢16号線道路改良その2工事請負契約について
平成28年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	平成28年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅整備工事（駐車場・3号棟北側通路）請負契約について
平成28年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	平成28年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼排水区5号調整池整備工事請負契約について
平成28年度柴田町介護保険特別会計補正予算	
平成28年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	
平成28年度柴田町水道事業会計補正予算	
平成29年度柴田町一般会計予算	農業者に寄り添った自律的な農業・農協改革を推し進めるための意見書
	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書

●平成29年度4月会議の出欠状況一覧

区分	主な内容	月日	出席者数	出欠状況																
				森 裕樹	加藤 滋	安藤 憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	齋藤 義勝	平間 泰緒美	佐々木 裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内 恵美子	水戸 義裕
本会議	各種選挙等、補正予算	4.1	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

●平成29年度4月会議議案などの審議結果

○全員が賛成したもの

件名	件名
監査委員の選任	平成29年度柴田町一般会計補正予算

一般質問



吉田和夫 議員

Q 子どもたちのがん教育は

A 正しく理解させる機会を検討する



子どもたちのがん教育（船迫小学校）

問 健康寿命延伸のために、若いうちからがん教育を実施すべきである。県では、がん教育を進めていると啓発しているが、本町の取り組みは、がんそのものに特化した教育はまだ十分な現状にある。予防教育の位置づけからも、また健康寿命延伸のためにも義務教育段階からがん教育を推進していくことが必要である。がんは早期に発見されれば今は完全に治る

といわれている病気である。子どもたちに正しく理解させることができる機会を、これからも検討する。

問 県では、小学校、中学校向けのがん教育教材も発表しているが、本町では活用しているか。

教育長 この補助教材は、28年度のがん教育総合支援事業のモデル校で活用し、学校現場からの意見などを踏まえ、29年度に改定を行う予定である。これらの動向も踏まえ、

がん教育教材の有効な活用のあり方を検討する。

問 教職員の対応として、子どもたちへのがん教育をどのように進めるのか。

教育長 先生方の研修に加え、対がん協会が行っている出前講座の積極的な活用や、学校医など専門家の活用も視野に入れ検討する。



平間奈緒美 議員

Q 交流人口を定住人口につなげるための戦略は

A 観光まちづくりを重点的に進めていく



しばた千桜橋下で開催された「さくらマルシェ」

問 交流人口を定住人口につなげるための戦略は。

町長 29年度は花のまち柴田を切り口とした定住に結びつける観光まちづくりを重点的に進めていく。具体的には、インバウンド推進協議会が核となる新たな観光地づくりやプロモーション活動、オフタイムオフシーズン対策及びインバウンドの推進を一体的なプロジェクトとして展開する。また、子育て施設の充実や子ども医療費助成を中学

卒業まで拡大するなど、おおむね順調に推移していると判断する。

問 都市や地域に売り込むためには、対象を明確にする必要がある。政策研究は。

町長 観光客意識調査を実施し、観光まちづくりのターゲットを明確にしていく。

問 船岡城址公園、一目千本桜の認知度を上げる必要な施策は。

商工観光課長 東北観光復興対策交付金を活用し、大河原町と連携しながら、プ

ロモーション活動を展開していく。

問 鎌倉市では、インターネットを通じて不特定多数から小口の資金を募る※クラウドファンディングの手法が官民共同で広がっている。取り入れてはどうか。

商工観光課長 町民に観光まちづくりを少しずつ理解していただき、意識が高まれば、事業に取り組んでいきたい。

※クラウドファンディング＝不特定多数の人が、インターネット経由で組織や財源の提供や協力を行うこと



舟山 彰 議員

Q 冠水対策の改善を

A 局地冠水対策マニュアルで対応する



整備が進む鷺沼調整池

私はこの2年間、産業建設常任委員長を務めた。総まとめとして次のことを問う。

問 27年9月の関東・東北豪雨で被害のひどかった所を主な対象として、局地冠水対策マニュアルを作成している。私が以前質問で取り上げた槻木の松ヶ越団地の下など、他にも被害の大きかった地域もあり、もっと範囲を広げてマニュアルを作成すべきではないか。

町長 今後、この局地冠水対策マニュアルを基にして、水害における町全体の災害活動や各課職員との初動体制、住民に対する避難情報の伝達や避難誘導の周知などを明確化し、被害の防止や軽減に努める。

問 西住地区住民及び隣接する大河原町民にとって念願の鷺沼排水路整備が進んでいる。本町は関連事業として周辺の側溝整備などを行うと思うが、どのような計画に

町長 調整池や幹線水路の整備を進める中で、不都合が生じる側溝や小水路については改善していく。

問 太陽の村の「ふわふわドーム」は好評だが、雨の日は使えない。対策はいかに。

町長 施設入り口にクロウズの表示を行い、利用できない旨を周知している。



水戸義裕 議員

Q 仙南広域の消防力は、足りるのか

A 消防設備の充実や増員により体制を強化している



町の安全を担う消防士

問 昨年12月午前、糸魚川市内から出火した糸魚川大火があった。発表では、強風にあおられ延焼、焼失面積が約4万平方メートルの甚大な被害だったが、死者もなく、けが人も少なかった。安全安心なまちづくりの観点から、火災予防の取り組みを問う。

町長 本町では、ホームページに、火災への備えや住宅用火災報知機の設置・点検のPR動画を掲載し、火災予防に努めている。消防団は、消防団、婦人防火クラブ、

問 仙南広域の消防力と足りるのか。
町長 今回消防職員をふやすので、体制は十分と思っている。
問 広域では泡消火器車は、どれ位あるか。
町長 仙南広域消防本部のデータによると、柴田消防署に1台、合計では仙南管内に5台設置。



佐々木裕子 議員

Q 「花のまちしばた」
としての
観光政策は

A 新たな企画で、
更に磨きをかける



新たにオープンした親水公園

問 桜まつりの誘客は順調に見えるが、今年の桜まつりに向けた、ソフト、ハードに対する施策をどのように行うのか。

町長 大河原町と連携した英語表記マップ作成、植栽事業、一目千本桜のライトアップを通し、新たな観光コンテンツの強化を図る。3月30日にオープンする白石川親水公園で外国人を対象とした野点体験を行う。また、しばた千桜橋下の河川敷では、さくらマルシェも開催予定である。

問 修繕中のスロープカーは桜まつりの期間確実に運行できるのか。

町長 プレーキユニットの修繕が完了し、3月12日に運行再開の予定である。4月の桜まつりには確実に運行できる。

問 27年度地方創生先行型事業検証結果で観光生産能力の指摘は大変重く、今後どのように観光産業として醸成を図っていくのか。

町長 残念ながら観光産業と言えない規模の集客がないのが実情。観光客

に支持される店をふやすことや、商店街への誘引力を高め、観光産業が今後の地域経済の柱であることを、商店街や商店主へ意識づけを行う。

問 味噌と柚子のように選ばれる商品開発をどのように行ってきたか。

町長 特産品開発は、民間事業所への補助制度を設け支援を実施。仙台の百貨店や町内イベントで販路を拡大していく。



斎藤義勝 議員

Q ドクターヘリを要請する際の条件は

A 消防が傷病の度合いを見て判断する



町内11カ所あるドクターヘリ離着陸場

医師と看護師が搭乗するドクターヘリは、県内でも28年10月から運行を始めた。

問 本町の場合、ドクターヘリを要請してから現場到着までの所要時間は。

健康推進課長 基地病院から県内全域に30分以内で到達することが可能。本町までの所要時間の目安は10分程度。

問 ドクターヘリが離着陸する際の騒音、風圧問題が懸念されるが。

騒音については、電車の中ぐらいの音でかなり低く、救急車のサイレンよりも低い。

風圧については、安全を確認し、プロペラがとまるまで待つことになる。

問 ドクターヘリを利用した場合、医療費の個人負担は。

健康推進課長 個人負担が3千900円、町が9千100円である。

問 ドクターヘリを要請する際の条件は。

健康推進課長 救急救命は時間との戦いであり、心臓が

停止している場合は約3分、呼吸停止は約10分、多量出血は約30分で50%の方が亡くなると言われている。

その時の傷病の度合いを見ての要請となる。

一般質問



安部俊三 議員

Q 東京オリンピック・パラリンピック
事前合宿に最善を尽くせ

A 公開練習会などで
多くの町民との交流を深める



オリンピックに向けスクラムを組んで

白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会は、2月2日、仙台大学で記者会見を行い、ベラルーシ共和国の新体操チームが両市町で合宿を実施することが決まったと発表しました。

問 どのような理由からベラルーシ共和国を対象としたのか。

町長 仙台大学が、平成14年から、ベラルーシ国立体育スポーツ学院と「国際交流に関する協定

書」を締結しており、指導者の招聘、研修派遣など、新体操を通じた交流を行ってきたことによる。

問 新体操ナショナルチームが来るという確約はあるのか。

町長 ベラルーシ共和国体操協会長の公文書により、事前合宿について実施したい旨の意向が示されたとの判断による。

問 何人ぐらい来るのか、具体的な計画は。

町長 29年は5人。30年と31年は2週間程度12

人を予定。開催年の32年も12人を予定している。

問 招致に関し、条件の提示をしたのか。

町長 協議会を通じて招請旅費などを考慮する。

問 どのような事業を行うこととなるのか。

町長 仙台大学で行われるジュニア新体操教室

での児童との交流や公開練習会の開催、選手による小中学校訪問、町民との交流植樹会など、多くの町民が交流に参加できる機会を設けたい。

問 花のまち柴田のまちづくり最終目標は。

町長 観光まちづくりのインフラが整ってきた。

住民と行政が一体となった柴田町が次のステージとして目指すのは、「世界に拓かれた「花のまち柴田」である。

問 町なかをきれいな景観にするために、どう整備していくのか。

町長 地域づくり補助金や緑化推進事業、多面的機能支払交付金事業、民間財団の基金なども活

用し、町なかの整備、桜の小径や親水公園を整備した。ヤエベニシダレザクラを初めとする植樹や、スイセン、レンギョウなど、四季折々に咲く花木を植栽し、魅力ある景観づくりを進める。

問 フットパスによるまちづくりを担う組織ハイキングコースなどの整備を担う組織をどのようにするの。

町長 都市と農村の交流や里山の保全を目的に整備している。里山案内

人の会も発足したので、槻木生涯学習センターとともに企画・開催する。コース管理は、毎年委託により草刈りや枝払い、定期的な巡視を行っている。

問 外国人観光客へのおもてなしは。

町長 通訳ボランティアアスタッフが、観光案内や道案内を行う。また、多言語の町観光マップの作成、案内看板設置、さらに、日本の伝統文化を楽しむんでもらう企画を行う。

Q 「花のまち柴田」によるまちづくりの最終目標は

A “世界に拓かれた「花のまち柴田」”



佐々木 守 議員



多くの人で賑わうしばた千桜橋

一般質問



秋本好則 議員

Q アグリツーリズムはまちづくりの要になると思うが

A 一つのヒントになると思う



太陽の村から望む里山風景

問 槻木周辺の歩道は歩きにくい。川口市では中央線をなくして歩道を広げているが。

都市建設課長

槻木の県道沿いと172号線沿いは確かに70cm程度から1.5位の歩道が連続して、歩きにくいという認識はある。川口市では車道を狭めて路側帯を広げ、自転車や歩行者が通りやすくなった事は認識している。

問

町中にポケットパークを作っている町やテーブルを置いている町

もある。これは町なかに入をふやし、商店街振興だけでなく*アグリツーリズムに繋がると思うが。

商工観光課長

27年の地域商業魅力創造調査会でポケットパークのような話だったが、歩道整備の話はなかった。

問

アグリツーリズムに「水平に広がる宿」がある。これは村全体が一つの宿という方式で宿泊と食事が別になる。空き家利用の宿泊や休耕田利用、高齢者の活用、商店街の活性化と、一つで本

町の課題解決の手段となり得ると思うが。

商工観光課長

日本は有名な観光地では、*B&Bで朝食は提供して、夕食は商店街に出て食べてくださいという形に動いている。一つのヒントになっているのかなと思っている。

問

このような方式のまちづくりは、これまで考えなかったのか。

町長

予算的制約もあり進むには時間がかかる。*

※アグリツーリズム＝都市居住者などが農村で休暇・余暇を過ごすこと
※B&B＝朝食を提供してくれる小規模で低料金の宿泊施設のこと

問 知事は昨年9月に少子化対策と子育て支援は喫緊の課題であると述べ、小学校入学時に教材購入費などを助成する制度の創設を前向きに検討したい方針を明らかにした。そこで、県事業の推進について問う。

町長

県では、少子化対策の推進や子育て家庭に経済的負担軽減を図るため、新たな助成制度の創設を目指している。町でも小学校入学用品費など助成制度を新たに創設する。1人当たり3万円

を補助し総額195万円を平成29年度一般会計予算に盛り込んでいる。対象児童は65人を見込んでいる。

教育総務課長

問 小学校入学用品の助成は単年度事業か。少子化対策の一環として、教育費の保護者の経済的負担を緩和することから、第3子がいる家庭に、県が2分の1の補助を出す事業である。現在、継続するという通達はないので単年度の事業と考えている。

問

対象者となる方は全員か。所得制限はあるのか。

所得制限は設けていない。所得制限に関係なく、準要保護、要保護の観点についても一律同じ対応になっている。

教育総務課長

問 PRはどのようにしていくのか。

教育総務課長

遅くとも5月あたりにお知らせ版などで周知を図りたいと思っている。

Q 小学校入学用品などの助成は



有賀光子 議員

A 単年度の助成として、第3子に3万円を補助する



入学準備用品



広沢 真 議員

Q 放射能汚染廃棄物の混焼はさらなる検証を

A 線量の「見える化」で住民不安の解消に努める



本格稼動した仙南クリーンセンター

12月27日に市町村長会議が開催され混焼は当面行われなくなった。この時間を利用し検証を進め、安全・安心を確保することが必要である。仙南広域事務組合の理事長としての町長に問う。

問 県の混焼を進める議論については、どのように感じているか。

町長 当初県の説明は一方的安全性を優先し、風評被害が出ないように配慮するようになってきたと感じている。

問 風評被害リスク、周辺住民の不安の声についてどう考えるか。

町長 各地で行われた説明会では健康不安、風評被害への不安、バグフィルターへの懸念など多くの意見が出されている。焼却前と焼却後の放射線量を「見える化」をすることが不安の解消につながると思われる。

問 1月30日の市町村担当者会議ではどのような議論がなされたか。

町長 8千ベクレル以下の汚染廃棄物を焼却以外の処理方法として堆肥化、すき込み、林地還元処理などの説明と、国が処理に関わる事業費の2分の1を補助するとの説明がなされた。

問 国県が示すデータを使うのみにしないで検証を行うべき。

町長 検証の条件付きで、全県一斉焼却の条件が満たされた場合のみ行う。



白内恵美子 議員

Q 早急に子どもの甲状腺検査の実施を

A 町として甲状腺検査の必要性はない



外で元気に遊ぶ子どもたち

問 28年12月会議において、子どもの甲状腺エコー検査を求める請願を議会は賛成多数で採択した。町は早急に検査を実施すべきでは。

町長 町として甲状腺検査の必要性はないと考える。心配する方には、リスコムコミュニケーションなどにより情報を提供し、個別相談を行い、不安な気持ちに寄り添う。原発事故の前、小児甲状腺がんは10万人に1人と言われた。事故後福島県の罹患者数は。

健康推進課長 23年〜25年度の検査で、がん、疑いも含めて116人。26年度以降の検査で68人。

問 この人数は原発事故由来としか思えない。

健康推進課長 震災復興特別交付税を使い検査した県内自治体は、丸森町が甲状腺検査、大河原町・栗原市が※ホールボディカウンター検査を行っている。

問 個人的に検査を受けた場合の費用は。

健康推進課長 医師が認めた場合は保険適用だが、個人の希望は自己負担となる。

問 国が検査費用を認めているのに、個人での検査が自己負担とは。

町長 わざわざ検査をして不安を与える必要はないという判断である。

問 民間が行った検査後のアンケートでは「検査を受けて安心した」の声が多数あった。相談より検査すべきでは。

健康推進課長 検査すべきではないという国・県の判断と全く変わらない。

※ ホールボディカウンター体内に存在する放射性物質を体外から計測する装置



我妻弘国 議員

Q 不登校の生徒が ふえて心配

A 多様な課題に対応した支援を 進めている



「おはようございます」元気にあいさつ

問 不登校の児童・生徒は学校に在席していれば校長の判断で卒業を認めたり、学校以外での学習状況を見て出席扱いにしたりすることができるとあるが「教育機会確保法」の考えをどのよう

教育長 学校に来れないという子どもを、校長がしっかりと受け止め、認められる場合には出席とすることができると。この新しい法律ができたことで

新たな環境も認めること

ができるかと解釈する。昨年12月「教育機会確保法」が成立した。不登校の児童・生徒を国や自治体が支援することを明記した議員立法。本町でも不登校の生徒がふえており支援のあり方が大事ではないか。

教育長 不登校の要因は複合型が圧倒的に多く、

多様な要因・背景により結果として不登校状態になっている。教育の観点のみで対応することが困難な状況となっている。

一人一人にきめ細やかな指導を可能にするため、県教育委員会に教員の加配を要請したり、町として支援員を配置するなどしている。また月に1回自立相談員と※スクールソーシャルワーカーの情報交換会を設定して多様な課題に対応した支援を進めている。

※スクールソーシャルワーカー＝学校での困りごとを抱えている子どもと家族を支えるための専門職

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

平間奈緒美 議員

- 問** 不安を解消するためにも子どもの甲状腺エコー検査を実施すべきでは。
- 答** 国県の基本的な方向性を踏まえ、現時点では町として甲状腺検査は必要性がないと考える。

舟山 彰 議員

- 問** この4年間の企業振興の効果はいかに。町の法人町民税収入の推移は。
- 答** 大震災後減収である。今後は、そう大きな変動は予想されないと考えている。
- 問** 地域住民から危険と言われた並松の町道32号線に、他にとった対策はあるのか。
- 答** 注意喚起の看板の設置の他に、通行に支障を及ぼす箇所については修繕している。

秋本好則 議員

- 問** 甲状腺検査を定期的実施する請願書が出され採択されたが、進展は。
- 答** 福島の検査結果を見ると、町として甲状腺検査を行う必要はないものと考えている。

有賀光子 議員

- 問** 高齢ドライバーの免許自主返納者に助成をしようか。
- 答** 検討してきたが、町ではデマンドタクシーがあり現時点では助成は行わないと判断した。

白内恵美子 議員

- 問** 子どもの貧困対策を考える「子どもの未来を応援する首長連合」の趣旨をどう考えるか。
- 答** 設立趣旨に賛同し加盟した。活動に積極的に参加し、その知見を町の施策に生かしたい。
- 問** 他の自治体の「図書館を核としたまちづくり」をどのように考えているか。
- 答** 図書館は知の拠点、住民の居場所、交流の場であり、まちづくりにとって重要である。
- 問** 町職員としてロス・ジェネレーション世代を積極的に受け入れることを提案する。
- 答** 30代の採用は技術専門職にならざるを得ず、その世代を優先した採用は考えていない。

我妻弘国 議員

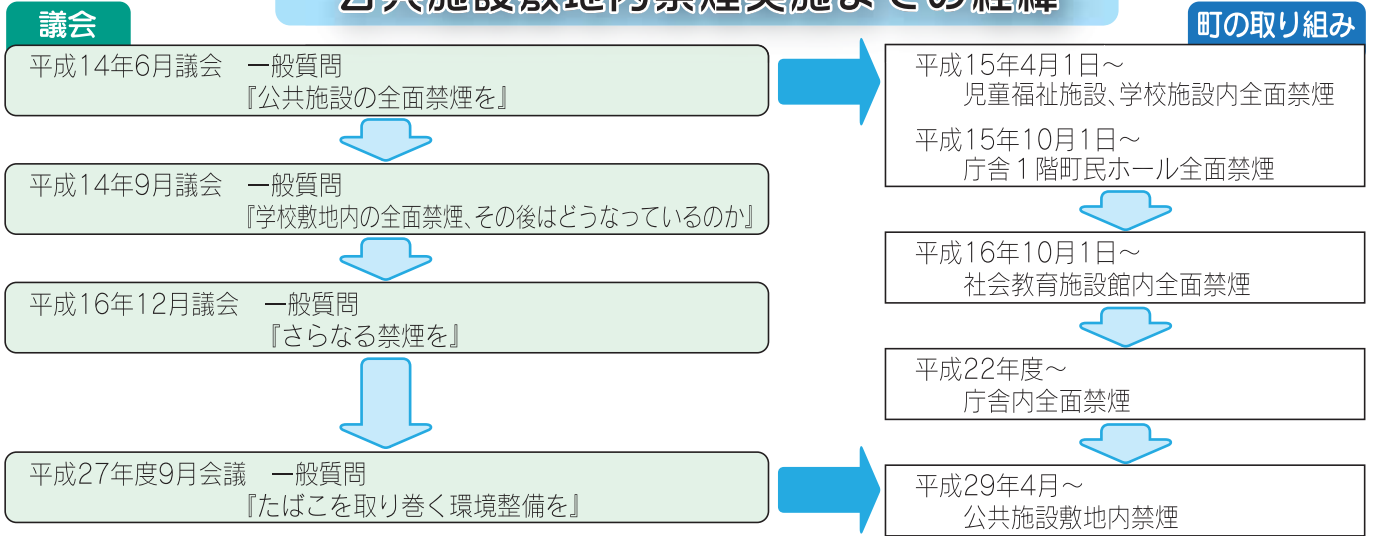
- 問** プラタナスや銀杏などは管理の手間や倒木の心配で植え替える動きがある。町の考えは。
- 答** 今後の街路樹のあり方を町民の安全そして維持管理コストの両面を考え対応に努める。

「追跡」あれはどうなった？

テーマ：公共施設敷地内禁煙

常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。
今回は、平成29年4月からスタートした公共施設敷地内禁煙を特集します。

公共施設敷地内禁煙実施までの経緯



本町では、受動喫煙を防止するため、庁舎での分煙対策などを進めてきました。平成14年6月議会では、「公共施設の全面禁煙を」の一般質問があり、15年4月から学校施設内禁煙、児童施設敷地内禁煙を実施することとなりました。

その後、15年には庁舎1階町民ホール全面禁煙、22年に庁舎内全面禁煙、24年10月からは、庁舎敷地内禁煙チャレンジデーを実施してきました。

27年9月会議で、「たばこを取りまく環境整備を」の一般質問があり、29年4月から公共施設敷地内全面禁煙となりました。

この公共施設敷地内禁煙は、県内で初の取り組みとなっています。

対象施設

- ・柴田町役場・柴田町保健センター・槻木事務所
- ・各消防施設・各保育所・各児童館・船迫こどもセンター
- ・各自転車駐り場・各都市公園（船岡城址公園を除く）
- ・学校給食センター・各小中学校・第一幼稚園
- ・各生涯学習センター・各公民館・農村環境改善センター
- ・しばたの郷土館・柴田町図書館・各体育施設

※上記施設以外でもご協力ください

議会から
たばこを吸う人も吸わない人もお互い気持ちよく過ごせる環境整備をすすめます。

受動喫煙とは？

たばこからでる煙や吐き出された煙を吸ってしまうことを受動喫煙といいます。

副流煙とはたばこの先から立ち上る煙のことで、アルカリ性が強く目や鼻を強く刺激します。副流煙には主流煙よりも多くの有害物質が含まれています。

柴田町が設置管理する公共施設は、**敷地内禁煙**です。



※禁煙関連法第25条では、「公共施設は、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されています。

町では、受動喫煙（室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸われること）防止を積極的に推進するため、平成29年4月1日から町が設置管理する公共施設の敷地内禁煙を実施しています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

柴田町

柴田町議会だより154号

入選

宮城県町村議会 議会広報選考会



秋本好則 委員 吉田和夫 委員 桜場政行 委員 平間幸弘 委員
 斎藤義勝 委員 安部俊三 委員長 平間奈緒美 副委員長
 (平成25年度～28年度 議会広報常任委員会メンバー)

第36回宮城県町村議会広報選考会におきまして、「しばた議会だより154号」(平成28年11月1日号)が入選しました。

町民の皆様に取り組みやすい紙面づくりを目指し、議会広報常任委員会全員のスキルを高めて励んでまいりました。昨年の奨励賞受賞に引き続きの入賞になります。さらに読みやすい紙面づくりに、スタッフ一同全力で取り組んでまいります。

議員表彰

- 白内 恵美子 議員
- 我妻 弘国 議員

全国町村議会議長会及び宮城県町村議会議長会表彰
 15年以上在職した功労者

- 水戸 義裕 議員
- 有賀 光子 議員
- 広沢 真 議員

仙南地方町村議会議長会表彰
 11年以上在職した功労者

柴田町議会六十年史完成

(柴田町議会三十年史続編)

柴田町議会六十年史・三十年史販売価格

品名	単位	単価
三十年史	1冊	2,000円
六十年史	1冊	3,500円
三十年史と六十年史の2冊セット	1組	5,000円

＝問合せ先＝
 柴田町議会事務局 (役場本庁舎4階)
 TEL: 0224(55)2136 FAX: 0224(55)2152



六十年史の編さん委員会を19回開催し、本年2月に発刊いたしました。委員長以下、ここ数年の記憶はお互いにあるものの、30年前まで遡ることとは不可能。そこで頼りになるのが、議会事務局のメンバーと過去の議事録、議会だよりです。

諸先輩議員が残した歴史を紐解き、文章、文言の統一な

どを図るとともに、読みやすくまとめました。ぜひご覧いただきたいと思えます。

今回、町民の皆さまに六十年史を販売いたします。柴田町議会の歴史を語る資料として活用ください。

また、三十年史も同時に販売いたします。

なお、柴田町図書館などでも閲覧できます。

あなたの一言



おがたゆみ
尾形由美さん
(下名生剣崎 在住)

●柴田町に住んで感じたこととは？

生まれも育ちも柴田町で日々の暮らしの中で特別何かを感じながら…ということはありませんが、私にとって柴田町とは楽しい旅先から帰ってきてきても、やっぱりここが一番だとホッとできる所です。住みやすい気候で自然に恵まれ、四季折々の美しい景色の中で生活することができ嬉しく思っています。

●柴田町で好きなところとは？

「館山」船岡城址公園には小さい頃から思い出がたくさん詰まっています。「お花見」「菊人形」「初日の出」…そして今はきれいに整備され足を伸ばす人も多くなりまして、「縦の木は残った」の縦の木があるあの場所が私の息抜きの場所です。そこでホッと景色を眺めるのが好きでした。

●柴田町に何を望みますか？

スムーズな情報の伝達です。特に大小問わず災害時などの緊急事態の際には情報がないと不安も大きくなります。できるだけ迅速な情報の伝達と対応をお願いします。

際には情報がないと不安も大きくなります。できるだけ迅速な情報の伝達と対応をお願いします。

●議会だよりを読んでいますか？

時々読んでいます。それぞれの議員さんが地域に密着した様々な問題、要望などを取り上げているので、町に反映されることを祈りつつ読んでいます。

●議会・議員に何を望みますか？

様々な声に耳を傾け、それを実現させていくために並々ならぬ力を尽くして欲しいと思います。議員の皆様にはお体を大切に、これからも私たち町民と町との希望の架け橋として活躍されますようお願いいたします。

■議会から一言

町民皆様の声に真摯に対応できるように努めます。

未来へ向けて

表紙について

4月16日(日)満開の桜のもとで行われた「第32回船岡地区子どもみこし祭りパレード」が盛大に開催されました。春休み中に制作したみこしをかつぎ、町内を練り歩きました。みんなの合図でワッショイ・ワッショイのかけ声も元気に響いていました。



編集後記

白石川の土手沿いに咲き誇った桜も、大勢のお客様を楽しませていただき、いよいよこれから、次のステージの新緑の芽生える季節にとバトンが移されました。

議会広報常任委員会も、今回から新たなメンバーが加わり、慣れないながらも一生懸命取り組みました。先輩議員が高い評価を得るまでになった広報紙を、さらにわかりやすく読んでいただけるよう、スタッフ一同真剣に取り組んでまいります。

議会広報常任委員会

委員長 吉田 和夫

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

6月会議は

6月6日(火) 午前9時30分開会予定

一般質問は

6月6日(火)・7日(水)・8日(木)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況を掲載

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより156号は、約16,000部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。